

平成 2 3 年度
えひめ千本桜の森づくり」実施要領

1 趣 旨

私たちのふるさは、過疎化、高齢化が叫ばれて久しく、田畑は後継者が途絶え荒れはてつつある。また、先の平成の大合併で、地域の伝統・文化が失われつつあり、私たちが生まれ育った市町村名が無くなってしまった現実があり、ふるさと意識が失われつつある。

21世紀えひめニューフロンティアグループは、日本古来の桜の木の植樹を通して、地域住民と共に「ふるさと再発見」をおこない、子供たちに伝える「新生えひめ」の地域活性化への起爆剤としたい。

桜の植樹活動が、新しいふるさとづくりへの「ゆさぶり運動」ならんことを期待するものである。

2 主 催

21世紀えひめニューフロンティアグループ 代表 若松 進一
事務局：〒790-0824 松山市御幸2丁目8-40 大野気付
Tel 090-2783-9193

3 後 援

愛媛新聞社 (財) 関奉仕財団

4 事業計画

- ・21世紀えひめニューフロンティアグループ(以下グループ)は、愛媛県内に桜の苗木 1000本(東予地区300本 中予地区400本 南予地区300本)を3年計画で植樹する。
- ・植樹活動は、植樹協力者として地域住民と一緒に「ふるさと再発見」活動を行い「新生えひめ」づくりに参画する事が期待できる。

植樹場所は、既存の名所急所に捉われることなく、10年後の「新生えひめ」を見据えて選定する。

(桜の植樹場所選定基準)

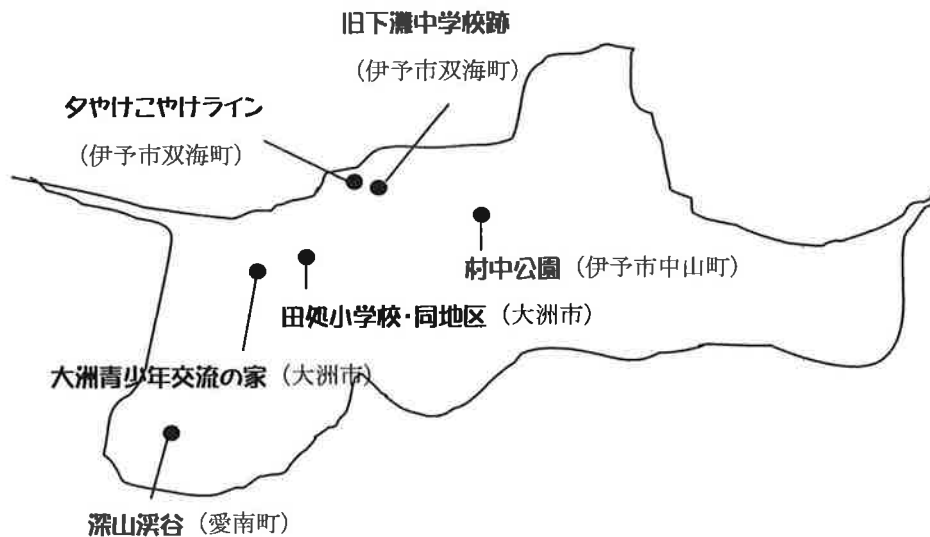
- ・フロンティアグループ会員の選定場所 (会員の出身地〈地域の意見を大切にする事〉・現在地)。
- ・地域グループの選定地。
- ・植樹協力者の選定場所。
- ・新聞応募による選定場所の検討。
- ・事業発表及び募集
愛媛新聞を通じて、「貴方が伝えたい新しい愛媛」の募集を行い、植樹場所決定の参考とする。募集を通じて、県民の「新生えひめづくり」の意識高揚を図る。

5 その他

植樹協力者(グループ)は、自主的に傷害保険へ加入すること。

(別紙) **取り組んだ内容**

平成22年度 「えひめ千本桜の森づくり」事業 実施場所



事業の内容及び効果

植樹場所	内 容	効 果 (評 価)
深山溪谷	植樹目的 桜苗木の植樹を通じて、新生えひめを考える起爆剤とする。 植 樹 日 H22. 12. 16 植樹場所 深山溪谷 (愛南町) 植樹本数 22本 参 加 者 深山溪谷探訪会員 9名	・植樹グループは、研修施設を自設し、植樹場所が子供達の野外活動の場所に予定されている。植樹活動を通じて地域活動の意識向上に期待される。 ・植樹地は、「鹿」に苗木が食い荒らされる被害に逢っており、防獣対策が課題である。
タヤけこやけライン 下灘中学校跡地	植樹目的 桜苗木の植樹を通じて、新生えひめを考える起爆剤とする。 植 樹 日 H22. 12. 19 H23. 2. 26 植樹場所 旧下灘中学校跡地 タヤけこやけライン 植樹本数 120本 参 加 者 70名	・廃校となった中学校跡地に植樹がなされ、植樹には、小中学生・大学生グループ・地域住民が参加し、地域住民や同校のOB等が新しい郷土づくりを考える拠り所と期待される。 ・自動車の往来の多い「タヤけこやけライン」に桜苗木の植樹が行われた。県民がこの地を往来する度に、桜の美しさに接する事により、新生えひめづくりの一助となる事が期待される。

大洲青少年交流の家	植樹目的 桜苗木の植樹を通じて、新生えひめを考える起爆剤とする。 植 樹 日 H 2 3 . 2 . 2 6 H 2 3 . 2 . 2 7 H 2 3 . 3 . 3 H 2 3 . 3 . 1 1 植樹場所 大洲青少年交流の家 植樹本数 1 2 0 本 参 加 者 大洲青少年交流の研修生(1 1 2 名)	・大洲青少年交流の家の研修生（サッカークラブ・不登校グループ・近隣の小・中学校）が、研修活動の一環として植樹活動がプログラムに組み込まれた。研修生が、植樹活動に参画する事により、ふるさと再発見運動につながるとともに、環境問題に取り組む一助となる事が期待される。 - 不登校グループの参加は、植樹活動を通じて、自分一人ではない、共に歩む仲間がいると言う、協働体験の場となった事は意義深い。 ・植樹地が大洲市所有であったため、同市から土地の許可を得るのに時間を要した。
田処小学校周辺 田処地区全地域	植樹目的 桜苗木の植樹を通じて、新生えひめを考える起爆剤とする。 植 樹 日 H 2 3 . 2 . 2 7 植樹場所 田処小学校周辺 田処地区全地域 植樹本数 1 1 0 本 参 加 者 小中学生・地域住民 5 0 名	・桜苗木に植樹者の名札つけ、オーナー制度を設ける事により、郷土愛への一助となった。 ・地域住民が、自分たちの地域に植樹し広域的なふるさと見直しのきっかけや意識向上に期待される。 ・植樹地域は、地主の了解を得たものの、地域住民から反対運動が生じ農業委員会に訴えられ、同委員会から指導を受けた経緯がある。
村中公園	植樹目的 桜苗木の植樹を通じて、新生えひめを考える起爆剤とする。 植 樹 日 H 2 3 . 3 . 6 植樹場所 村中公園（伊予市） 植樹本数 8 0 本 参 加 者 地区住民・小学生。 3 5 名	・植樹日に向けて、植樹地の環境整備や隣接地の伐採作業等地域あげての準備がされた。また、植樹日には、地元婦人有志による「うどん・バーベキュー」等の炊き出しが行われ、地域住民の結び付きと「桜の下で花見をしよう」と言う合言葉のもとに、地域一丸となって夢に向かって羽ばたこうとする行動が見られた。
総植樹本数 4 5 2 本 植樹参加総人数 2 7 6 名		